

静岡

2016年11月16日(水)、Jリーグは理事会を開き、日本フットボールリーグ(JFL)のアスクラロ沼津のJ3参入を正式に承認した。JFL年間通算順位3位という結果を残し、2016年シーズンの目標としていた「J3昇格」を見事に達成した。サッカー王国・静岡県ではジュビロ磐田、清水エスパルス、藤枝MYFCに続く4つ目のJリーグクラブの誕生となった。また、静岡東部地区で初のJリーグクラブの誕生とあって、地元のサッカーファンはもとより、地元経済界からも地域の活性化につながるのではないかと期待されている。

アスクラロ沼津のTOPチームは、1977年「沼津アーセナル」として設立された。1980年に「沼津香陵クラブ」にチーム名を変更し、地域クラブとして活動してきた。その後、2006年にチーム名を現在の「アスクラロ沼津」に変更し、Jリーグ入りを目指

して活動を本格化した。2011年に東海リーグ2部昇格、2012年に東海リーグ1部昇格、2013年にJFL昇格と順調にステップアップしてきて、2013年度にJ3ライセンスを取得。そして2016年、念願のJリーグ入りを果たした。

クラブの理念としては、地域コミュニティの中核として、多世代、多趣味、多種目にわたる生涯スポーツ活動、トップアスリートの育成、地域文化振興などに関する事業を行い、青少年をはじめとする地域住民の心身の健全な育成と地域企業との連携による、地域の活性化を図り、地域の皆様とともに明るく豊かな街づくりに寄与することを目的としている。その中で、アスクラロ沼津のTOPチームは地域に根付き、地域に貢献し、地域の夢、子供たちの夢となるチームを目標とし活動している。

ホームスタジアムとなる「愛鷹広域公園多目的競技場」の現在の観客収容可能人数は5,000人だが、今後J2、J1と上を目指していくためには、J2で10,000人、J1で15,000人を収容できるスタジアムが必要となる。そのためには、地公体や地元経済界の協力と支援が不可欠となるが、まずは夢の実現に向けて、チームがJ3で好成績を収めていくことが最も重要となる。すでにチーム入りしている元日本代表の中山雅史(ゴン中山)選手に加え、今季の補強として、やはり元日本代表の伊東輝悦選手など12名の選手補強を行い、J3参入初年度から上位進出を目指している。

J3リーグは3月11日に開幕し、12月3日の閉幕まで全34節・1チーム当たり32試合で争われる。昨年度は1試合平均のホーム観客動員目標2,000人超を地元の方々の支援で達成することができた。今季は1試合平均

3,000人超を目指しており、ぜひ多くのファンの方々にスタジアムに足を運んでいただき、生の試合を観戦していただきたい。

アスクラロ沼津 J3昇格



J3昇格に歓喜するアスクラロ沼津サポーターと選手たち